



(人生をgoいっしょに。)
Sincerely for You



2010年 は、マイホームを建てる絶好のチャンス！
「さらに建て時**5つのメリット**」+「**トヨタホームエコミライの家**」で快適な家づくり!!

メリット 1 新登場 「省エネ法トップランナー基準」で 住宅版エコポイント 30万円 相当 グリーン家電エコポイントと同じく、様々な商品と引き換えられます。2010年12月末までの期間限定の予定です。	メリット 2 拡大 住宅ローン「フラット35」Sの 金利引下げ幅拡大 当初10年間 1.0% 2010年12月末までの住宅所得で、当初10年間の金利引下げ幅が0.3%から1.0%に拡大される予定です。	メリット 3 拡大 贈与税控除 非課税枠が拡大 1,500万円に 拡大 2010年12月末までの非課税枠が、従前の500万円から1,500万円になり、最大1,610万円へ25%に拡大。
メリット 4 大幅アップ 「太陽光発電の新たな買取制度」で 充電価格が大幅アップ 48円/1kWh 太陽光発電で創った電力のうち、余剰電力分を電力会社に1kWhあたり48円で売ることが出来ます。	メリット 5 まだまだお得 「長期優良住宅」で 住宅ローン控除 最大600万円 返済最大限の「住宅ローン控除」の利、(控除額)が最大、マイホーム購入に大きなメリットがあります。	

いい未来を建てよう。
ECO MIRAI
エコミライの家

誕生フェア

昭和住宅公園展示場・甲府東住宅公園展示場にてフェア開催中！
「シンセ・ソレスト」太陽光発電1kW増量キャンペーン

はじめよう！水道光熱費実質ゼロ生活

期間中「シンセ・ソレスト」で契約の方に
太陽光発電パネル1kW分を無料で増量

余剰電力の買取価格2倍!!! 1kWhにつき、24円→48円へ。
太陽光発電の設置補助金制度も整備。

今がチャンス!

(人生をgoいっしょに。)
Sincerely for You

トヨタホーム山梨株式会社

(社) 山梨県宅地建物取引業協会会員・宅建免許証番号 山梨県知事(1)-2223号

お問い合わせ・ご相談は	本社・本社展示場	〒409-3851 中巨摩郡昭和町河西1043	(昭和バイパス、流通センター前交差点からすぐ)	TEL 055-275-1234
	昭和住宅公園展示場	〒409-3866 中巨摩郡昭和町西条140	(昭和バイパス、西条交差点からすぐ)	TEL 055-275-8551
	甲府東住宅公園展示場	〒400-0812 甲府市和戸町976	(和戸通り沿い、山梨中央銀行からすぐ)	TEL 055-220-1170

<http://www.yna-toyotahome.com> トヨタホーム山梨 検索

早野グループ
コミュニケーションマガジン

MUH
Vol.42 2010.04

発行／早野グループ「MUH」編集室
2010年4月11日

〒400-0807 山梨県甲府市東光寺一丁目4-10
TEL055(233)1111(代)



人・話題・旬 **雨宮 清氏**

地雷廃絶に挑む技術者 モノづくりから国際貢献の道へ

- フォーラム／江宮隆之・古屋久昭・岩崎正吾・五十嵐勉 ●トピックス／宮塚利雄
- セミナー／深谷百合苗 ●美術／山本育夫 ●歴史／植松光宏 ●名峰からの富士山／上野 巖
- やまなしの文芸・名所／福岡哲司 ●郷土の芸能／水木 亮 ●甲府通運前史／林陽一郎
- ユーザー訪問 ●お家拝見 ●おしゃれ・たべる ●ウォッチング
- 新「甲斐の細道」／若林賢明 ●某月某日／杉村 聡



山梨日立建機 代表取締役

雨宮 清氏

1947年山梨県生まれ
1970年山梨市に車両工場所を設立し、1980年日立建機の特
販店及び指定工場となり、1996年現社名に変更
1995年、対人地雷除去機材開発プロジェクトチーム設立
1998年の1号機の完成を皮切りに、カンボジア、アフガニスタン、
ニカラグア、アンゴラ等で対人地雷除去機が使用されている

地雷廃絶に挑む技術者 モノづくりから国際貢献の道へ

対人地雷除去機の開発に
取り組み15年

世界120カ国に1億2千万個も埋
設されていると言われる地雷。世
界の60%が地雷国であり、世界各地
で毎日60人以上の命が奪われている。そんな地雷を安全に取り除い
て平和を取り戻し、地雷原を農作
物が栽培できる豊かな大地へと甦
らせたい。山梨日立建機代表取
締役の雨宮清さんは、その思いか
ら対人地雷除去機の開発に取り組

み、今年で15年目を迎える。現在、
山梨日立建機が開発した対人地雷
除去機はカンボジアをはじめタイ、
ベトナム、アフガニスタンなど世界
で70台が活躍。世界各地で子ども
たちの笑顔を取り戻し、平和な暮
らしをもたらしている。

日本の技術で
何かできないだろうか

1994年、仕事でカンボジアを訪れ
たことが、開発に取り組むきっかけ

となった。「内戦を終えて間もないカ
ンボジアは想像以上に悲惨な状況
で、手足のない人、ひどい火傷を
負っている人が溢れていました。ど
うしてこんなに手足のない人が多い
のか分からず、出会った老婆に『な
ぜ手足がない人が多いのか』と聞くと、『地下に埋まっている爆弾だ』と
言い、さらに『この国を助けてくださ
い』と言うんです。その時はとても助
けられないと思いましたが、帰りの
飛行機の中で思ったんです。日本の
技術で何かできないだろうかと」。



ネット甲斐は噴水が目印!!

ネット甲斐

本社 甲府店 サンロード、東小中学校、朝気、オギノハリオ、セブンイレブン、NTT、GS、ファミリーマート 甲府市朝気3丁目10番21号 TEL (055) 232-5511 (代)	竜王店 竜王自動車、至R20、宝くじ、山梨信用金庫、農林高校 甲斐市西八幡2377-1 TEL (055) 279-5533 (代)	韭崎店 至R141、セブンイレブン、生田建設、珍珍珍ラーメン、SSO、パチンコ、トヨタ、カローラ 韭崎市一ツ谷1971-1 TEL (0551) 23-0500 (代)	若草店 セブンイレブン、至田富流通団地、GS、浅原橋、バイオニア、至三郡橋 南アルプス市浅原351-2 TEL (055) 283-5001 (代)	河口湖店 至河口湖、生長の家、パチンコ、ハイランド、至大月インター 南都留郡富士河口湖町船津4875-1 TEL (0555) 73-1161 (代)	都留店 大月市内、都留高校、トヨタレンタ、満足屋、桂川、ひうが 都留市田野倉196-1 TEL (0554) 43-9000 (代)
--	--	--	--	---	--

新車インフォメーション・イベント、キャンペーン情報 <http://www.netz-kai.co.jp/> 6月5日竜王店移転オープン (新住所 甲斐市玉川1580)



モノづくりは
現場主義でなくてはならない

帰国後、早速地雷の研究から始め、翌年には再びカンボジアに渡り、自ら地雷原での調査を開始した。当時カンボジアにはヨーロッパなどの地雷除去機が導入されていたが、灌木の多いカンボジアに適した除去機はなく、結局人の手による除去活動に頼らざるを得ない状況だった。

「モノづくりは現場主義でなくてはできません。まずは現地で地雷を手で除去している住民の気持ちを知ることから始めました。どんな気持ちで地雷原に住み、地雷を除去しているのか。何を一番に願っているのか。住民とともに生活し、

その気持ちを知ること、本当に必要とされる除去機の開発ができるのです」。

その後10回以上にわたり現地での調査を進め、1号機の完成までに実に4年の歳月を費やした。完成した除去機は地雷を安全に除去することはもちろん、除去後の土地を有効に使えるよう造成や耕作作業も行える。また納入時には運転指導教育やメンテナンス指導を行う。それは新たな雇用創出につながっていった。現在では複数のメーカーが地雷除去機の開発を行っているが、現地の人々の自立支援まで考えて開発を行っているのは山梨日立建機だけだ。

活動の継続のためにも事業化を

国連などを通して、山梨日立建機地雷除去機を導入したいという依頼が世界各国からくる。「現在も18カ国から調査依頼がきていますが、その土地に合った除去機を製作し、現地の人々が平和に暮らせる地を開けるようなやり方をしなければなりません。確かに1台2台を売るのは赤字ですが、何でも提供すればいいわけではありません。現地を見ない限り提供することはありません」。

しかしもちろん、活動を継続していくためにはビジネスとして成り立

たせることも必要だ。「私の引退後も開発を続けていくためにも、事業化していかななくてはなりません。はじめはボランティアでしたが、今はモノづくりを通して社会貢献を進めていくという位置づけで取り組んでいます。また私たちがビジネスとして『Win』になるだけでなく、地雷国の彼らも『Win』とならなければなりません。双方が『Win』となって、始めて事業はうまくいきます」。

今こそ、モノづくりという
原点に戻れ

開発着手から15年目を迎え、あらためて思うことがある。「ここまでやってこられたのは、やはり支えてくれた社員、そして家族のおかげ。またこの活動は会社にとっても、社員にとっても、とても大きなものになっています。社員には常に『自分に誇りを持って』と言っていますが、その礎になっています」。

そして今、モノづくりを通して感じることがある。「人口80万人ほどの小さな山梨県の中にも、社会貢献しながらビジネスをしている私たちや、グローバルに事業を展開している企業がたくさんあります。そこを支えているのはやはり技術です。技術がなくてはこれからの企業は伸びていけません。深刻な不



2001年 アフガニスタン



2004年 アフガニスタン



2006年 カンボジア



2006年 カンボジア



2006年 カンボジア



2007年 アンゴラ

況が続く今、やはりモノづくりという原点に戻ることが求められているのではないのでしょうか」。山梨のこれからの発展にも、技術者の養成、つまり人材づくりが大切だと強調する。

人を思いやり、
分かりあえる社会を願って

モノづくりから広がっていった世界中の人々との交流を通して、家族の大切さ、命の尊さもあらためて感じている。「地雷原で暮らす人々は貧しいが家族や友達の絆、命の大切さを知っています。しかし豊かな日本では今、命の大切さが失われつつあり、家族の大切さ、人を思いやる心を忘れてしまっています。1人1人を思いやることができる社会、もっと笑顔のある日本になるよう、これからも命の尊さ、人の気持ちをわかりあうことの大切さを日本の子どもたちに伝えていきたいと思います」。

世界各地に埋設された地雷を完全に除去するには、1千年かかると言われている。それは終わりの見えない挑戦だ。それでも技術者雨宮清さんはこれからも挑み続ける。豊かで平和な大地を甦らせるため、子どもたちの笑顔を守るため。



表紙の解説

山梨日立建機・雨宮社長の精力的な活動により地雷が削除され、笑顔を取り戻しつつあるカンボジアの子どもたち

【2008年撮影】



「MUH」vol.42 2010.4.1

企画／早野グループ「MUH」編集室

望月公貴・小澤徳容・米山昌二・青柳友昌・

樋口明美・齋藤慶子・雨宮千鶴子

編集／株式会社ニュースメディア甲府

三神弘・小林大介・岩間新太郎・千野和美・

荻野由香・杉田陽子・浅川毅・標克明

印刷／株式会社サンニチ印刷

誌名の「MUH」は、早野組の社訓である「和」を託したMate（仲間）Union（結束）Harmony（調和）の頭文字からとりました。幻のムー大陸のロマンを目指します。

記憶にない

踏み込まれても「記憶にない」

江宮隆之

江戸時代、浮気をするのは亭主ではなく女房の方であった、というびっくりするような研究がある。

その頃の言い方で「不義密通」。現代では「不倫」。「不義密通」には、理由があった。つまり、江戸の町は極端に女が少なかったのである。男8割、女2割などという学者もいるくらい。だから、吉原など幕府が公認した男性の遊び場があり、未公認の岡場所などもあった。

だから、町人の中で結婚しているとか、女房がいるとかは、嫉妬の的にもなった。女房はそれを知っているから、遅く起きる、起きた時には亭主が仕事に出る前に朝食の支度をしておくのは当たり前。

これが江戸の真実なのであった。起きたら女房がすることは、アルバイト。圧倒的に多い独身者の掃除、洗濯などなど。これが結構いい稼ぎになった。

あとは暇をもてあます女房たちの楽しみが「間男（浮気）」。亭主は、夕方まで帰ってこない。そのうちに若い物売りなんかがやって来る。ちょっとつまんでしまおう、というので……。次のような川柳がある。

「この頃はつくるに亭主気が付かず」
最近女房が化粧をする、だがそれを亭主は気付かない。間抜けだね、ウチの亭主は、ということであろうか。

「間男をせぬを女房恩に着せ」
どこそこのカミさんは間男をしているというのに私はやらないのだから恩に着なさいよ、と女房が言うという。

では、もしも亭主に「間男（浮気）」がバレたらどうするか。重ねて四つにする、というのは斬り殺すことをいうが、江戸も後期になると「7両2分」（大判一枚）で一件落着。相手の男が「7両2分」を出せば見逃した。第一、ここで女房に逃げられたら永遠に再婚など出来ないからだ。

後になって解決金は「5両」に下がった。そこで川柳。「もはや逃れぬ尋常に五両出せ」

ところが上に行く女房もいて、その最中に亭主に踏み込まれても「記憶にございません」で片付けた。記憶にないものを亭主は怒れない。強いのは女房。泣き寝入りはいつも亭主の方であったという。

記憶にも、記録にも

古屋久昭

「記憶にございません」ということばは、ロッキード事件で一躍、時のことばとしてモテはやされた。国会の証人喚問で、ひたすらこのことばが繰り返された。

政商といわれたその男のかすれた細い声は、およそ意外であったが、声とはうらはらに、さすがにその面構えだけは、テレビで見た瞬間、納得のいくものであった。

最近でも億万マザーからのお金、「記憶にございません」といって白をきったこの国のエライ人がいた。ゆえに政商や政治家たるものは、ああでなければいけない、などと、とんでもない教訓を披瀝した輩もいたそう。

困ったときの神だのみ、「記憶にございません」は、どうやら昔も今も政商や政治家の必携ことばのようだ。

ところで、わたしも日々「記憶にない」の連発である。「今月、おれの小遣いはくれたっけ?」「なにトボけているのよ、ちゃんとあげたじゃない」「そうだった、記憶にないよ」「車の鍵、知らないか、どこに置いたのか、さっぱり記憶にないんだ」

「このページ、まだ読んだ記憶がないのに朱線が引いてある、ということは、もう読んでいたのか」

「最近、カレーを食べたっけ。記憶にねえな」「なにいつてるのよ、食べたっていうからタベ作ってあげたじゃない」

と、この辺まではヨシとしよう。問題はこれからである。記憶にない、記憶にない、を積み重ねていけば、やがて認知症の海へ。認知症の度は日々少しずつ、じわじわと進んでくるのだ。その実感が無いわけでもない。友人からもそのようなことを聞いたことがある。先輩後期高齢者にとってはもっと深刻かもしれない。

いやいや日常茶飯の単なるモノワスレ現象とおもえば心配するほどには及ばない。記憶に留めようなどと考えずに、ひたすらメモや記録をとっておくべきと心得よう。よくいうではないか、「記憶するより記録せよ」と。だが、記録する前に、今さっきのことを一瞬にしてわすれてしまうことがあるのだ。「記憶にありません」、「記録にもありません」お手上げである。

記憶にない……

イヤな題だ。本誌から与えられる題は、気に入らないものが多いが、これは極めつけた。おおかた最近のわたしのことを知っていて、皮肉ったものに違いない。まだまだボケ老人だと決めないでもらいたい。

しかし最近、記憶にないことが実に多いのだ。今日だって、着替えてクツをはいて外に出たとたん、どこにいくつもりだったか忘れてしまった。立ち止まって、空を見あげて考えてみたが思い出せない。頭の上にあるのは、青い青い冬の空だけだった。

記憶にないことが多くなったのは、今から3年ばかり前からだったと思う。それだって、いまになると正確には記憶にない。講演のような、人前で話しているとき、突然、人の名前などを忘れてしまう。映画や芝居の出演者、歌手の名前なんかが多い。

仕方がないから、話を聞いてくれている人に逆に問いかける。「だれだったですかね、このあいだ死んだ俳優、ホラ、長い顔した……」「ほら、てなもんや三度笠に出ていた……」「ホラ、白木みのると共演した……」なんて、関係ないことは

現在の尊さ

忘れっぽいせいか、よく自分が何をしにここへ来たのか、なぜここにいるのかわからなくなる。茫然としたり、うろたえたりはいまのところしない。よくよく考えてみれば、忘れていることのほうが多く、憶えていることのほうが少ない。本来忘れることのほうが自然なのだ。人間とつながっている、社会とつながっている、そのことにおいて記憶は重要なのであって、自分の活動がなくなるにつれてお返しすべきものなのだろう。ではなぜその記憶を社会のために授かるのかということが、むずかしい問いなのだが、生かされていることの何か役割のようなものがあるのにちがいない。

自分の中を振り返れば、せいぜい祖父くらいは遡れるが、それ以前は辿れない。みな記憶にないし、忘れているのだ。むしろ忘却の領域のほうが大きい。自分の中を辿れば殺人者も何人かいるかもしれない、苦しいことや、命からがらのことなどが集積されて、現在のこの命につながっている。歴史そのものが膨大な屍の集積だろう。死の累積のほうがかはるかに大きなかたまりと言える。人はあ

岩崎正吾

よく覚えている。「藤田まこと……」と誰かが言ってくれば話はつながるが、誰も何にも言ってくれないときは、口の中でもぞもぞ言っていて自分でごまかすしかない。そうして話を進めていくと、突然、しかも脈絡のないところで名前を思い出すことがある。記憶というものは、なんとも自分でコントロールできないものだ。

もう大昔の学生時代、「しかばね」と呼ばれていた国文科の老教授がいた。その先生も教壇でしばしば記憶をとぎらせ、立ち往生することで有名だった。そのときも、先生は口に手を当て、目を白黒させ絶句した。心得ている学生は黙って、先生の記憶がよみがえるのを待っていた。しかし、勉強のできるおせっかいは必ずいるもので、「先生、芥川龍之介です」と教えたやつがいる。そのとたん、先生の顔に走った悲哀の色が今でも忘れられない。国文科の教授は芥川を忘失したことを恥じ入ったのだ。はて……そろそろ字数がつきて終わらなければならないが、いったい、わたしは何について書こうとしてきたのだろうか。

五十嵐勉

まりにつらいこと、残酷なことはむしろ忘れようとするものだ。原爆の被害の凄惨さ、太平洋戦争の戦場の惨酷さは、記憶しなければならぬと同時に、一方で忘りたい欲求もある。人は記憶によって苦しみられることがある。記憶が人を狂気へと追い詰めたりすることもある。歴史が多くの死によって動いているように、人間の底には忘却の河がとうとうと流れている。それが流れているからこそ、この現在が尊いものになり、記憶の輝きが一段と増してくるのにちがいない。

記憶は、自らが光を当て、輝きを与えて、生かすように心がけないと、すぐに忘却の河に呑み込まれてしまう。個人として磨く場合が「知識」であり、社会として磨く場合が「文化」になる。

どちらにしても、深い忘却の河の上に我々は浮かんでいるのであって、「記憶にない」生命のつながりの大河こそが、我々をどこかに運んでいく主体なのだ。ここという大事などときには、この大河に身をまかせることのほうが重要な気がする。

PROFILE

江宮 隆之
えみや たかゆき
1948年増穂町生まれ
作家 第13回歴史文学賞、第8回中村屋湖文学賞受賞 代表作は『白磁の人』 最新刊は『龍馬の影 悲劇の志士・赤松小三郎』河出書房新社

古屋 久昭
ふるや ひさあき
1943年御坂町生まれ
日本現代詩人協会会員
山梨県詩人協会会長 日本ペンクラブ会員 詩集に『落日探集』ほか、「日用叢書」エッセー集等

岩崎 正吾
いわさき せいご
1944年甲府市生まれ
作家 代表をつとめる山梨ふるさと文庫は、間もなく創設30周年、200冊の刊行になる。昨年、食と文化の情報誌「祭」を発刊、創刊号に「黒駒勝蔵」を書いている。また インターネット上で作家 出版活動をしようと模索中 新作ミステリー『探偵の冬』が刊行され 同時に『探偵の秋』が文庫化される

五十嵐 勉
いがらし つとむ
1949年甲府市寿町生まれ 甲府西中、甲府一高卒 作家 「文芸思潮」編集長 「流談の島」で第2回「群像」新人長編小説賞受賞 「縁の手紙」で第1回読売新聞・NTTブリック主催インターネット文芸新人賞最優秀賞受賞

草創と守成といずれか難き

山梨学院大学 経営情報学部教授 宮塚 利雄

昨年の小欄では「100年に一度」と言われた米国発の金融危機に、日本経済が翻弄されている状況を述べたが、1年後の今日では、商品やサービスの供給より、需要が少ないという「デフレギャップ」が叫ばれている。この現象は今に始まったものではなく、バブル崩壊から20年近くも、日本経済はこの「宿禍」のような構造的な問題に直面してきたのである。昨年11月30日にデフレ政策を断行した「需要はあっても供給が追い付かない」北朝鮮と違って、日本は圧倒的に「需要を供給が上回っている」中でのデフレ現象である。デフレ現象を「安かろう、良かろう」と歓迎するのは早計過ぎるが、筆者が専門としているパチンコ業界では、これまで「一個4円」の貸し玉料金が普通であったのが、この2年前からは、「一個2円」とか、さらには「一個1円」、はなはだしくは「一個50銭」というパチンコ屋も登場してきている。これでは価格破壊といわれても仕方ないが、熾烈な顧客獲得のための経営手段の方途、と言われれば納得もいく。そういえば甲府駅の南口から平和通りを下ってくると、雨後の筈とは大げさかもしれないが、薄利多売を売り物にする「居酒屋」が増えてきた。これらの店を見てみると、全国チェーンの店や、他の場所から移ってきて営業を始めた店もあるが、新たに独立（創業）した店もある。これらの店にたびたび御世話になっている筆者にとっては、まさしく「安かろう、美味しかろう」という、これらの居酒屋さんが軒を並べて集客獲得のために競争することは大歓迎であるが…。

一方では「いつまであの店は持つのか」という、不謹慎な考えが過ぎるのも事実である。いつものようにカウンターで独り飲みながら、40年以上も前に大学で経営学を学んだ時に、先生が次のような中国の古典を紹介しながら、学生たちに意見を求めたことを思い出した。これは『貞観政要』に出てくるもので、内容は次のようなものである。名君として知られる唐の太宗が、ある時、重臣たちを集めて、「帝王の

業、草創と守成といずれが難きか」と尋ねたことがあった。「草創」は創業、「守成」は、「成を守る」で、すでに出来上がったものを守っていくということである。一人の重臣は草創の方が難しいと答え、もう一人の重臣は守成の方が難しいと答えた。二人の言い分を黙って聞いていた太宗は、やがておもむろに口を開き、二人にそれぞれに理のあることを認めた上で、こう語った。

「^{ひるがえ}翻って考えれば、草創の困難はもはや過去のものとなった。今後はそちたちとともに、心して守成の困難を乗り越えていきたい」と語ったという。このように太宗は異常な決意をもって守成の時代に対処したのである。この稿を書いているさ中、サントリーと麒麟の大型合併が破談したというニュースが飛び込んできた。破談の主な理由の一つとして、サントリーの佐治社長が「統合するからには対等合併。統合後も創業家が筆頭株主になる」と強く主張したことに、麒麟側は、多くの株主の中でサントリー創業家だけを優遇する提案は最後までめず、交渉を打ち切ったという。「ウイスキーから飲料事業中心の企業へ華麗な転身を遂げるなど佐治・鳥井家の歴代社長がトップダウンで会社を発展させてきたサントリーと、三菱グループ一員としてビールを中心に着実に業績を拡大してきた麒麟。世界最大級の食品会社という壮大な目標は、企業風土の違いという深い溝に落ち、泡と消えた」（『読売新聞』2010年2月9日号）。太宗の「守成」の精神を両社の経営者に見ることができた。先ごろ発表された甲府市中心街の週末三日間の歩行量を調査した甲府商工会議所の報告書によると、2009年度は14万5017人と過去最低を記録したが、「ちょうちん横丁」として売り出し、飲食店街が連なる「ファミリーマート前一駅西平和通り」は、前年度よりも増加している。地元商店主が取り組む町おこしの効果が見えてきた証左でもある。願わくば末永く「守成」を貫いてもらいたいものである。

『みちくさの時間』

エッセイスト 深谷 百合苗

息子が小学校に入学して、もうすぐ一年が経ちます。

転勤続きで、ろくに土地の事情を知らないまま、幼稚園等の新しい環境を探して過ごして来たのが、これまでの常。

今回は同じ土地で何年か暮らした後、地元の小学校にすんなり入学出来るという、ごく一般的な事が、私たちにっては殊の外安心感のある門出となりました。

毎日同じマンションのお姉さん達と一緒に通学してくれ、途中、クラスメイトが満面の笑みで手を振って出迎えてくれます。私はといえば、窓から顔を出し、手を振ってはしばし見送り。

帰りは同じ通学路の同じ学年の子供達7～8人が連れ立ち、それはそれはのんびりとした帰路。お昼寝をしている犬にまで、挨拶をしてくる有様。

子供達が沢山いると、それなりに緊急事態も発生するようです。足が痛くなった友達がいたら、寒くても一緒に座って待っていたり、トイレに行きたくなって慌てて帰る子もいたり。時には言い合いになることもあれば、お互い荷物を持って助け合うこともあり。雨の日にはカタツムリを傘の柄につけて大事そうに帰って来た、という面白い思い出もありました。

帰り時間のあてにならない子供達を、お友達のおじいちゃんやお母さん同士と、いつも外でのんびり話しながら待っていたものでした。迎えにゆけば、皆が今日あった事を、あでもないこうでもない矢継ぎ早に話しはじめ、やっと帰宅。

どれをとっても物珍しい事は一つ無いのですが、これが一年生の日常のテンポであり、幼稚園とは違う、親子の程よい距離のあるひとときとも感じました。一年生も一週間のほとんどが五時間授業となり、習い事をする子供も増え、帰宅後沢山の友達と存分に遊ぶ時間がほとんどない現在、通学



駄菓子屋クロちゃん

の帰り道だけでも、毎日皆でゆっくり楽しく過ごせる時間が確保できるのは、とても有り難いことです。親の参加の度合いもありすぎても無さ過ぎても駄目で、さじ加減を毎回考えながら暮らす楽しみも新たに加わりました。

こうしたゆるやかな日常がいつまでも続けばよいのに、と想う反面、転勤族として必ず今の環境に別れを告げる覚悟も必要とされ、年度の終わりと始まりのこの時期は複雑な想いに駆られます。今迄の日常が非日常に変わり、また別の日常を創り上げる中、これまでのようなゆとりの快適な空間を親も子も確保できるだろうか、と不安もよぎります。幼少期の緩やかな時間は、恐らくあつという間に過ぎてゆくでしょうから。

最後に、山梨を訪ねる際に必ず立ち寄る、山梨市の蔵元の中の小さな駄菓子屋クロちゃんの事を紹介します。近隣ではコンビニやスーパーなどしか立ち寄れるお店が無くなってきた現在、子供たちが分相応のお金で、自分の好きなお菓子を買ひ、気軽にお友達やお店の方と会話を交わせる場所を、との想いで設けられたそうです。駄菓子屋という空間が、どこなくゆるやかな子供の時間を与えてくれます。

自分でお金を計算し、うんと考えた末に買い物をし、お店の人とやりとりを交わす。思えば子供にとって、こうした独特の間の空間はめっきり減りました。大人も子供も早さを求める時代なのでしょう。

息子が自分で計算しながらお菓子を楽しむように選ぶ情景をみて、また、毎日のんびりと様々な間をもちながら帰宅して過ごす姿をみて、子供達に見合うテンポと環境を、大人である私たちが提供し、近所の子供達の成長をゆっくり見守ってゆきたいと想うのでした。

ボクのやまなしフィールドミュージアム09

なつかしいまちなみと、古道のたたずまい

山本育夫



● 年間1万冊売れた

まちミューガイドブック

驚いたことに、とうとうまちミューガイドブックの昨年度の販売数が1万冊をこえたのです。目を疑いましたが、そう数字にあらわれたのです。ショップや書店売りにくわえて、各種類の関連機関や施設での増刷が増えてきたのですね。たとえば、韮崎市の保坂嘉内関係のガイドブックなどは、講演会や講座などのたびに、増刷依頼をいただき参加者に配布して下さっていますし、南アルプス市の学校図書館や甲府市立図書館など、公共施設が全冊購入してくださるというケースもあります。

前述した数字には、毎月やっているツアーやウォーキングの参加者からいただく参加費(この中にはガイドブック代が含まれていますから、実はここでも「売れている」ことになります)による売上げの数字は加算されておられませんから、加えるともう少しのびることになります。

● ガイドブックでまちおこし

こうなってみると、この数字が5万冊になれば、5万人の人たちが、まちミューガイドブック片手に山梨の市町村を歩いていることになる。そうして、皆さんは、ガソリンを入れたり、駐車代を払ったり、電車のチケットを買ったり、ランチを食べたり、自動販売機でジュース

「増穂西小学校前」バス停
周遊コース
(ウォーキングコース)

行程表
石平林郵便局
増穂西小学校
文珠堂
みさき耕舎
増穂西小学校前
バス停
増穂西小学校前
みさき耕舎
カーショップUFO
木工房 きかん舎

を飲んだり、しているはず。まちミューガイドで紹介している地元のお菓子をお土産にしたりもしているかも。そんなふうに、なにがしかの経済効果を発揮してくださっている。つまり、まちミューガイドブックが売れば、いつの間にかまちづくりやまちおこしが実現してしまっている! かもしれないのです。一人200円の投資で…。なんてね。

● 増穂西小学校でタイムスリップ

さて、今回は、この記事を読んでいるころには富士川町になっている増穂町平林地区の紹介です。まずは、平林のマップを見てください。52号線から平林青柳線を登ってきますと、バス停増穂西小学校前を通ります。バスの方はここで下車。今回のお薦めコースはここからの周遊となりますが、結構な坂道です。距離はそれほどないのですけど。

まずは増穂西小学校におでかけください。全校生徒は10人ほどだそうです。昭和28年に建てられた木造二階建ての校舎、全体をペンキで塗装しているため、木造の感じが伝わらないかもしれませんが、ボクらには懐かしい。取

材時には校舎の中を見学させていたのですが、長くつづく廊下、各教室入り口に掛けられている、2年1組といった標識。黒板にチョーク。保健室の人体模型や体重計…。ごく自然に小学生の自分に戻れる空間が、そのまま現役で健在です。見学を希望される場合は、あらかじめ許可を得たほうがいいと思います。

校庭のかたわらには、昭和13年に開局したという旧平林郵便局がありますので、こちらもお見逃しなく。

● すばらしい富士山の眺望と

わんちゃんオルゴール

平林には紹介したい話題がたくさんあります。紙面の都合もあるので急ぎ足で。さて、学校の傍らを通る新利根川沿いの桜並木から、富士山が見られます。桜と富士山。この取り合わせは、おお、と思わず声が出る素晴らしい。しばし、ご堪能いただきながら、坂道を登っていきますと、前方にみさき耕舎が見えてきます。ここで一休みしたら、眼前に広がる大パノラマと富士山をもう一度拝見して、記念写真などをパチリと。

次は木工房きかん舎へ。

このお店は、2005年のやまなし・ゆめふじ国体の折、皇太子殿下が愛子さまのために「わんちゃんオルゴール」をお求めになったことで有名になった、お店。平林にあるところが、またステキなのです。店主の山崎正俊さんの心を込めた手づくりおもちゃ、あったかーい、と、ここでも声を上げてしまいます。

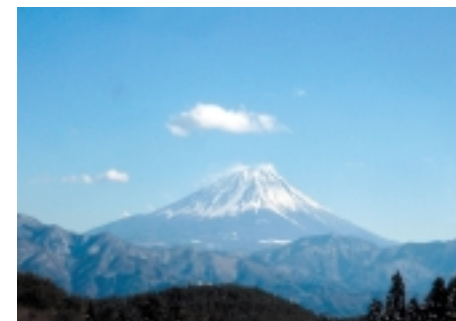
● 氷室神社の荘厳さにうたれる

最後のお薦めは、氷室神社。こんな山間部に、どうしてこんなすごい建物が造れたんだろう? と思わずにはいられません

が、鳥居から杉木立の中を登る575段の石階段が待っております(笑)。それなりの覚悟が必要ですが、車の方は、脇道を利用すれば随神門や拝殿、本殿のある場所まで上がれますのでご安心を。そこまで上がったなら、本殿奥にそびえている樹齢約1200年を越えるご神木と対面してきてください。こちらは声でもないほどの感動を得られるに違いありません。



人体模型だ!!



ステキな富士山



木工房きかん舎



旧平林郵便局

「増穂登り窯」には、芸術家・池田満寿夫が発表した「満寿夫八方窯」がある。

「日本の自然とさまざまな文化に出会える「ギャラリーHAN」。

「ギャラリーHAN」は、昭和47年10月の開業。一日から十日まで、国内外の作家の作品を展示しています。また、ギャラリーHANでは、池田満寿夫の作品や、山梨県産の陶器、木工品などを販売しています。また、池田満寿夫の作品や、山梨県産の陶器、木工品などを販売しています。

「増穂登り窯」は、池田満寿夫が発表した「満寿夫八方窯」がある。

「日本の自然とさまざまな文化に出会える「ギャラリーHAN」。

「ギャラリーHAN」は、昭和47年10月の開業。一日から十日まで、国内外の作家の作品を展示しています。また、ギャラリーHANでは、池田満寿夫の作品や、山梨県産の陶器、木工品などを販売しています。また、池田満寿夫の作品や、山梨県産の陶器、木工品などを販売しています。

山本育夫

特定非営利活動法人つなぐ理事長・まちミュー友の会事務局長・武蔵野美術大学非常勤講師・元まち見物誌ランデブー編集長
山梨県下に160を越すツアーコースと、同じ数のガイドブックをつくり、現在、毎月、2、3回のウォーキングやバスツアーを実施している。まちミュー友の会会員は200名を越し、県下最大のふるさと歩き隊。関心のある方は、つなぐイベント係 080-1223-8302にTEL。

つなぐNPO公式サイト
ランキングにチャレンジします。愛のワンクリックを!
つなぐサイト→まちミューブログ最新情報→アイコン
「山梨情報」をクリック
<http://www.2a.biglobe.ne.jp/yamaiku/>

日本のフライフィッシングの 先駆者

～ 学友・芦澤一洋に文学館で再会 ～

奈麻余美文庫主宰 **植松 光宏**



芦澤一洋は自然と釣りをテーマに多くの著作をのこしている

「ローインパクト」を提唱

山梨県立文学館が、本年1月、20年ぶりに、リニューアルオープンした。「蛇笏・龍太記念室」が新設され、樋口一葉、太宰治らの展示室も格段と資料が充実し、見応えがした。

オープン初日、「芦澤一洋コーナー」の前に立った。ガラス越しに、芦澤が本栖湖湖畔でフライフィッシングに興じる写真があった。思わず、

「おー、芦澤」と声をかけ、しばし、涙ぐんでしまった。写真の下には『フライフィッシング全書』『バックパッキング入門』『アウトドア・ものローグ』『アーヴィングを読んだ日』など、彼の代表作が並べられていた。潤んだ目では、タイトルを読むのが精いっぱいだった。

芦澤一洋は1938年に南巨摩郡富士川町に生まれた。早稲田大学卒業後、新聞雑誌等でアウトドアライ

フ全般に渡る著作活動を展開し「ローインパクト」を基本とした自然との関わり方を説いた。「ローインパクト」とは、自然を保護しよう、また、自然を破壊しないように、という意味だ。1996年、没。

芦澤一洋と、私・植松は、甲府一高でクラスメイトだった。席が隣りあっていたから、すぐ仲良しになった。彼の実家は鯉沢で、身延線で通学していた。ある時、台風で身延線が不通になってしまった。帰るに帰れず、我が家に泊まることになった。夕食時、彼の健舌ぶりに両親が驚いた。数日後、「こりゃあ家の新米だ、父が持って行けと言って」と、1俵もある米を自転車の荷台に積んで運んで来た。そのパイタリーに舌を巻いてしまった。

そんなことがあって、彼とは学友中の学友で、仲良く遊び、高校三年間の学校生活を楽しく過ごした。こんな事もあった。二時限が休校とってしまった。これ幸い、ガリ勉君に代弁を頼み、友人の足立、塩見を誘い、富士川へ釣りに行った。鯉沢橋の袂に大きな瀬があり、大きな浮きを投げ込み、何時間も川面を眺めた。狙った鯉は釣れなかったが、みんな釣りの虜となった。



山梨県立文学館の「芦澤一洋」のコーナー



芦澤一洋七回忌 芦澤ファミリーと筆者(左から二人目)

アラスカでサーモンを釣る

芦澤は釣りが好きで、毎日のようにこの富士川で、大竿を振り上げていた。釣りを始めたのは、小学5年生の時、親父に手ほどきを受けたと言っていた。大物のヤマコを釣りあげたことを身ぶり手ぶりで、話してくれたことがあった。

学校の成績も良かった。芦澤は早稲田に進学、釣り仲間の足立は東大へ、塩見は天理大、私は法大へと、それぞれ違った人生を歩き始めたが、芦澤は筆まめで、近況を良く伝えてくれ、著作を出すたびに送って来てくれた。

光陰矢の如しで、社会人となり15年、学友の塩見から突然電話があった。「俺の店(駅前・奥藤)で今、芦澤と飲んでいる、早く来い。植松に用事があるらしい」ということだった。「芦澤一洋映画と講演の会」を開催するにあたっての、協力要請だった。

「芦澤一洋映画と講演の会」は昭和45年6月、甲府市社会教育センターで開催された。400人収容のホールがほぼ満席という盛況だった。同級生、釣り仲間、映画ファンが集まった。映画の題名は「釣り人の詩」だった。主演俳優は芦澤一洋で、アラスカを舞台にサーモンを釣ると

いう、ドラマチックな物語だった。本邦初公開の、自然保護を基調とする本格「バックパッキング」映画で、この時、初めて「キャッチ・アンドリリース」という言葉を知った。映画の中で、自然保護を知った。彼の成長振りに驚嘆した。さらに交流が深まった。

映画の後は講演会で、彼の半生を語る自叙伝であった。「高校時代、学友と富士川で釣りを始めたことで、俺の人生が決定づけられた」と、語りはじめた。

フライフィッシング協会を設立

学校を卒業後、彼はグラフィックデザイナーの道に進むが、「山と溪谷社」の仕事をしているうち、アウトドアライターとしての天分を現し「バックパッキング入門」を著した。以後、自然と人間とのかかわり方をライフワークとして、数々のエッセーを書き、また翻訳を行い、この道の先達となった。日本フライフィッシング協会を設立、旗手となった。「芦澤一洋映画と講演会」は感銘深かった。

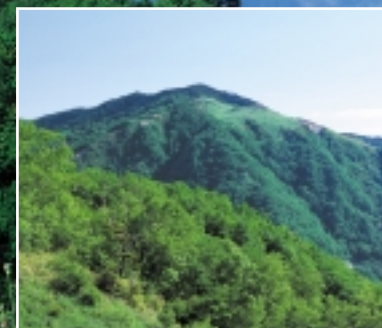
文学館の「芦澤一洋コーナー」の前に立つと、まさに走馬灯を見る思いで、色々な事が思い出された。あまりにも長時間、感慨にふけて

いたので、文学館の司書がやってきて、「気分でも悪いんですか?」と、声をかけられてしまった。

この日、写真撮影の許可を貰い、「芦澤一洋コーナー」のスナップ写真を撮り、芦澤夫人に写真を送った。私の近況も知らせた。「今、FM甲府で、『本を読む人コーナー』に出演し、県内作家の名作を取り上げ、朗読をしています。2月19日、芦澤一洋の著作『私を呼ぶ川の匂い』を朗読いたしました」と記した。放送を聞いて、何人もの学友から「俺も芦澤に会いに文学館へ行くよ」と電話があった事も、書き加えた。

数日後、夫人から礼状が来た。手紙の最後に「夫の書庫を私流に整理しました。これから、ゆっくり読書をとっています。もし、ご興味があったら見に来てください。出版業界の不況がいわれて活字人間にとっては、寂しいことです」としたためてあった。芦澤夫人・沙知子さんは、夫の意志を継ぎ「芦澤一洋奨学基金」を設立した。大勢の青年がこの制度で海外研修に旅立ち、大きな実績を残している。

植松 光宏 (うえまつ みつひろ)
元 甲府市立図書館長
現 山梨大学非常勤講師
奈麻余美文庫主宰
昇仙峡御岳蕎麦保存会会長



北どなりの白谷ノ丸にもきれいな草原がある

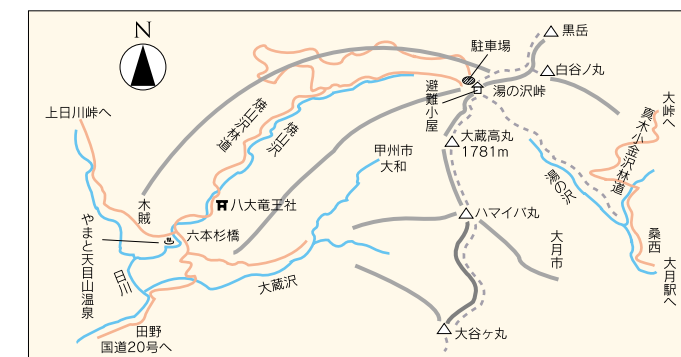


ひっそりと咲くテガタチドリ
は数が少ない

大蔵高丸山頂の草原から残雪の富士山を望む

ずかに下って雑木林の中の登りをひと頑張りすれば、もう大蔵高丸の広い頂上である。南面に広がる華の豊富な草原の向こうに、三ツ峠山の上の富士山がきれいだ。

時間的に余りにもあっけなかったら、そのまま尾根道をハマイバ丸まで行ってくるのもいいだろう。逆に湯の沢峠に戻って北の白谷ノ丸を目指すのもいい。ただし、こちらは傾斜も急だし、時間も1時間半くらいはかかる。いずれにしても、珍しい丸のつく山めぐりが出来る山域である。



帰路もほぼ同タイム



JR長坂駅 このモニュメントは天地を撃ぐ湧水をテーマに製作し、高さ6.5mの三角柱のデザインです。ひとつの面にLEDが80個埋め込まれており、3面の合計は240個にもなります。



交通安全施設・公園環境施設・太陽光発電システム
株式会社 ロード 甲府市下小河原町262 055-241-6161 <http://www.ro-ad.jp>

大蔵高丸 (1,781m)

甲州市・大月市

写真・文：上野 巖

山名に「丸」がつく珍しい名前は、大月市近辺に集中しているが、その中の代表的な山がこの大蔵高丸である。名前のおおくり全体が丸みを帯びていて険しさはない。林道が発達しているお陰で登るのも簡単だ。そのため富士山撮影のマニアが常に絶えない。

マイカー利用の場合は、笹子トンネル西口手前で国道20号から北東に入り、日川に沿って旧大和村の中を進む。枕坂トンネルを抜けたら「やまと天目山温泉」の前で右の焼山沢林道に入る。いくつかカーブをこなして焼山沢から離れ、左に大きく迂回して尾根に登りきると今度は右に迂回し、左の支線林道を見送ってしばらくで湯の沢峠下の駐車場に着く。

避難小屋(下に湧水豊富)を右下に見て湯の沢峠に出る。南に向かって気持ちのいい草原を歩く。西には甲府盆地を隔てた南アルプスが連なり、東には大月市近辺の低山から道志山塊一帯が展望できる。わ

やまなしの
田植え唄

劇作家
水木 亮

一九四二年生まれ 小説「祝祭」で第一回
織田作之助賞 小説「お見合いツアー」で第
四九回農民文学賞

江戸時代はほとんどの人が農民であつたと言われる。農業の様相は戦後著しく機械化が進み、内容も多様化し変わった。しかし長い間、農民は厳しい労働の中で生きてきた。その様々な作業のなかで、彼らの歌う唄は気持を慰め、つかのま癒し、心を豊にするものであつた。それらの作業唄を始めとして、さまざまな風雪に耐えた農民の唄を紹介しながら、そこに込められている彼らの思いを考えたい。まずは山梨で歌われた田植え唄からである。

なよとしてみても 楽じゃない

お色子と 寝てさえ玉の汗をかく

「お色子」は恋人のこと。農民の明るい艶笑唄である。これを歌うことで元気がでて作業もはかどるのである。

はよう田を植えて 農休み

お色子と 大塚の蓮の花見に

若い男女にとって逢い引きくらい



楽しいことはない。大塚沼の蓮の花は有名で、若い人ばかりでなくみな機会を見て花見をしたらしい。花を見るのも楽しみだが、一緒に弁当を食べたり、娯楽のない時代それにかこつけて、男女がよいことをしたり。

それらがお互いの明日の活力になったのだろう。

唄をうとうて 田を植えて

晩にや 太郎次とねていく

昼は働いて、夜は男と楽しいことをして、そうして農民の一日は過ぎていく。

田の草とりは 頼まれて

行くもいや 行かぬも義理のわるさよ

百姓暮らしでは義理は大切である。農業はお互いに助け合わないで生きていけない。そこでかんかん照りの太陽のもとでの田圃の草取りは、腰が痛いしアブに食われながらの辛い作業で行きたくないが、頼まれれば嫌でも義理を欠かすことが出来ない切ない気持を歌う。

お田植えに腰の鏡をとんだして

おじょうもんたちがよっちゃってみる

「とんだして」は「取り出して」「よっちゃって」は「寄りあつて」の意味。「おじょうもん」は娘のことを言う。今でいえば女子中学生、高校生の年齢である。年頃の少女が三人よればかしましで、鏡を見ながらきやあきやあとおしやべり夢中になる様子は、目に見えるようでも今も昔も変わらない。

【写真】「植松波雄の全仕事」写真集より

古尊跡寺の草むら

(甲府市武田三丁目・金幣稲荷大明神)

文芸評論家
福岡 哲司

昭和二十三年生まれ
「野田 深沢七郎ラフソディ」で開高健奨励賞
「近侍山梨の光と影」山日ライブ러리
平成二十年度甲府市民文化奨励賞



が懸けの相討で絶命した。

乞食は武田の浪士で、天目山に果てた勝頼の敵を討つために身をやつして家康の本陣を侵したのだという。姓名を調べたが知る者もない。家康は浪士と近習の墓を建て、双方の「忠良」を称える碑が今も古尊跡寺の草むらに残る。

結びは、潜んでいた「武田衆」が「神君」の「御仁恵」に感動し靡いたことは、織田信長の比ではなかった、となるのだが。

史実か否かは分からない。が、謡いと言ひ、卵塔と言ひ、「金幣稲荷」と言ひ、この一人のテロリストが、もしも家康に取り立てられて類い希なる手腕を発揮した武田遺臣大久保石見守その人だったとしたら……と、私はしばらく空想してみた。

【写真】いずれも金幣稲荷大明神境内

BOOK

すばらしい本との出逢い



【写真】天尊跡寺の大久保石見守供養の卵塔。「法広院殿前石州一」的朝学居士慶長十九甲寅四・二十五とある。大久保長安一周忌の日付である。

前回は昭和二十七年（一九五二年）に中央線石和駅に取扱所を設置する件を取りあげたが、今回はその前年・昭和二十六年上期の甲府通運の営業報告書を閲覧することができたので、それに基づく運輸関係の事項を取りあげる。

昭和二十六年（一九五一年）十二月現在、甲府通運株式会社は甲府市橋町老番地（現丸の内二丁目）に本社があり、その列車貨物の取扱駅は甲府、酒折、南甲府の三駅で、翌二十七年より石和がこれに加わった。

運送に従事する貨物自動車は、当初普通貨物車四輛を所有、それに自社系列の甲府小運送自動車株式会社所属の普通貨物車五輛と小型車一輛を借り上げて合計十輛の体制で営業を行っていた。二十五年四月一日より、甲府小運送社の車輛を一括譲り受けて本社車輛としての体制を整え、駅貨物の通運関係普通車八、小型車二、さらに一般運送用としての普通車三台、全体で計普通車十一台、小型車二台の計十三台と台数を増加運営してきた。さらに小型車の利用率が増えたために、六月には小型車を一台増台して、一般用に使ってきた。これで二十六年九月現在の使用自動車数は、普通車十一台、小型車三台の

甲府を中心に 営業地帯を拡大、 生活物資の輸送に努力

林 陽一郎

はやし よういちろう
甲府市教育委員会文化振興指導員
山梨郷土研究会



身延線の拠点となった南甲府駅（昭和30年ごろ）

合計十四台で営業を行っていた。当時、近距離間の輸送は馬力車、大八車、それにリヤカーを使用していたが、時代が移るにしたがい、馬を使う、また運送に人力の消費の大きい荷車等は敬遠され、ゴムタイヤのリヤカーによる近距離少量運送が現れてくるが、本社においても自動車の他に二台のリヤカーの使用が報告されている。

石和駅関係の取扱所については先に記したが、これに先立って本社では南甲府駅と酒折駅で取扱所を設置している。

身延線は海の静岡と山梨を結ぶ鉄道として、昭和二年（一九二七年）に富士甲府間が完成。当初、富士身延線鉄道株式会社の運営であったのだが、昭和十六年（一九四一年）五月に国有化された静岡方面の物資の輸送路でもあった。甲府通運では静岡方面の貨物の集積駅である南甲府駅を重要点と認めてここに営業所を開設する。

当初十平方メートル（約三坪）の建物であったのを二十六年より駅構内に移転増築している。その変更は次のようになっている。

南甲府営業所は所有として一棟十平方メートルのものを使用していたがかねて申請中の同駅構内鉄

道用地を六十四平方メートル借用し一棟五十平方メートルの労務員詰所と保管庫を建設、二十六年七月から使用開始した。

中央線酒折駅は甲府地域の貨物駅として大正十五年（一九二六年）二月十一日に営業を開始、特にこの酒折駅は甲府通運の前身ともいえる甲府小運送自動車株式会社との拠点ともなった駅であり、甲府通運の拠点でもあった。

酒折営業所は一棟二十九平方メートルを借用していたが、地理的事情に恵まれないので同駅構内の鉄道用地を三十平方メートル借用することができたから一棟二十平方メートル（労務員詰所および保管庫兼用）の建物を建築し二十六年八月中に移転し営業を行う。

このように昭和二十六年上期の事業報告によれば甲府駅を中心に、酒折、南甲府、さらに果実地帯の石和駅をその取扱駅として事業の拡大を図っている。さらに昭和二十七年には峡西地域の果実―特に高級果実とされるメロンの輸送を一手に引き受ける準備が始まっているがこの時期が甲府通運発展のはじめといえる。

暮らしに、やさしいアシストサービス

おまかせさん[®]

公的介護保険で対応できない、暮らしのいろいろお手伝い。

「住み慣れた地域で、いつも自分らしく快適に過ごしたい」。お客様のそんな前向きな気持ちに応え、暮らしの中のちょっとしたお困りごとを解消する、さまざまなサービスをご提供します。 ※自費でのサービス

家事コース

日常的な家事支援

入院中。
誰か着替えを届けて！

必要なものをお伝えください。ご自宅にうかがい、病院までお届けします。

主サービスの内容
●掃除●洗濯●買い物●調理●薬の受け取り
●アイロンかけなど

家事コースプラス

特別な家事支援

換気扇の掃除や
コンロ磨きを頼みたい。

換気扇やコンロの掃除だけでなく、庭の草むしりや大掃除などもおまかせください。

主サービスの内容
●大掃除●草取り●模様替え
●ペット世話など

ケアコース

身体介護

結婚式に祖母を
出席させたい。

結婚式をはじめ、観劇や日帰り旅行、お墓参りなどに同行します。

主サービスの内容
●見守り●入浴介助●食事介助●排泄介助
●病院内付き添い●散歩●話し相手など

※危険が伴う場所や、銀行・行政機関の手続きはお断りする場合がございます。



在宅介護サービス

株式会社 やさしい手 甲府

山梨県甲府市上石田1-7-14

介護に関するご相談は

TEL055(236)6210

<http://www.yasashiite-kofu.co.jp>

医療と介護の現場へ「復職」「転職」を希望されているみなさまへ

医療・福祉の転職・就職専門サイト



もっと自由に、もっとあなたらしく

私たちハートフルスタッフの専任コーディネータに是非一度ご相談ください。みなさま方の要望に応えられる職場あるいは働き方について詳しくご案内いたします。なお、東京、神奈川方面への転職希望のみなさまについてもご相談に応じております。

パソコン・携帯からのお仕事検索と
応募が可能になりました。



ハートフルスタッフ

検索

<http://www.hf-staff.jp/>



ハートフルスタッフは医療・介護・福祉に特化した人材派遣業と職業紹介事業を行なっている会社です。

株式会社 ハートフルスタッフ

派遣・紹介に関するお問合せは

TEL055-236-0123

Kofu:Hachioji:Yokohama:Shinjuku

カラーに一目惚れしたお気に入りのヴィッツ

深沢電器商会（旧増穂町）



奥様の初美さんとスタッフの松永久美子さん

優しい色合いのヴィッツで仕事がはかどる

昔ながらの商店街が軒を連ねる旧増穂町の国道52号沿い。青柳寺入り口の脇に店を構える深沢電器商会が今回の取材先です。パナソニックという大小のロゴが外観にもちらほら見受けられ、いかにも“街の電器屋さん”の風貌。「戦後間もない昭和23年に父が創業しました」と応じてくださった。今はご主人の茂さんと次男の大輔さん、甥の名取裕信さん、ベテランスタッフの松永久美子さんらとともにこの店を盛り立てています。

「ネット甲斐の営業、千頭和さんとは大輔が中学の同級生でして、昨年8月にヴィッツを購入したんです」とのこと。女性スタッフの小物配達用にふさわしく、色はほんのりと淡いライトパープル。「家電もそうですが、カタログに一番最初に出ているものはメーカーでも特におすすめで、結果、お客様から人気が集まる商品なんですよ」と奥様が話せば、「見た目もちろん、乗り心地が快適ですね。収納スペースも工夫してありますし、内装もおちついていて。おかげで仕事が気分良くはかどります」と隣で松永さんが笑顔で言い添えます。

サービス精神も、しっかりと受け継がれて

大型量販店が価格競争を進める一方、“街の電器屋さん”である深沢電器商会は、半世紀以上にわたる地元の顧客とのつながりを大切にしてきました。「息子は、父の代からご最良にしてくださっているお客様に孫のように可愛がっていただいて」と初美さん。人と人との信頼関係は、一朝一夕に叶うものではなく、深いおつきあいがあるからこそ、成立するもの。「先日は息子がご高齢のお得意様のところへ行った帰りに古新聞をたくさん引き取ってきただけですよ」と

とほほ笑みます。商売抜きで手助けする旺盛なサービス精神。このエピソードからも、代々受け継がれてきたお客様への姿勢が伺えます。

じつは深沢家ではご長男を数年前に突然亡くされ、他県で働いていた大輔さんと、他社に入社したばかりだった裕信さんの2人が戻って後を継ぐことになりました。哀しみを乗り越え、今は家族の絆が一層強まったご様子。地元のお客様ともさらにつながりを深めていくことでしょう。ヴィッツは、その傍らで颯爽と働く心強い相棒のようでした。



明るく気さくなスタッフと担当の千頭和さん



家族の笑顔をはぐくむこだわりの住まい

河合さん宅（甲斐市）

甲斐市の閑静な住宅街の一角に建つ河合邸は、モノトーンのシンプルな外観の「シンセ・スマートステージ」。すっきりとした佇まいが目を引きま

す。「モダンな家にしなかった」というご夫妻の思いどおり、家の中もとてもシンプルでおしゃれです。白い壁に明るいトーンのフローリングのリビング、続くダイニングとキッチンも大理石風のタイルで仕上げられた真っ白な空間。その中でベージュ系のグラデーションが美しいキッチンの壁がインパクトを与えています。

「今はオープンスタイルのキッチンが主流ですが、リビング側にあえて壁を設け、明るめの印象的な色を持ってきました。お客さまが来ても丸見えにならないので気に入っています」と奥様。

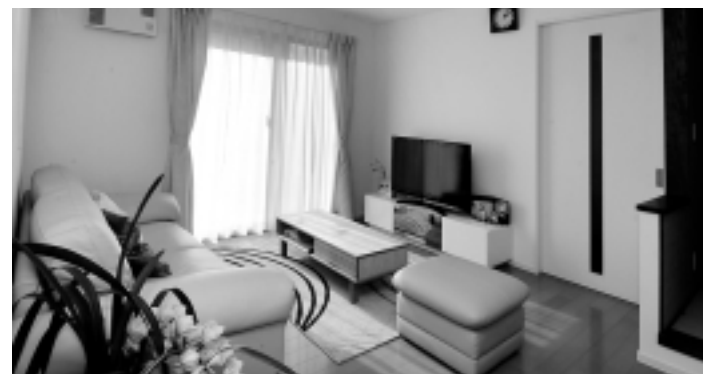
空間の仕切り方もとても工夫されていて、一階はひとつの大きな空間でありながら、リビング、ダイニング、キッチンがそれぞれ独立したスタイル。

「リビングはくつろげる場所にしたいかったので、散らかりやすいキッチンやダイニングと別の空間になるよう、ダイニングとの間の一部にも壁を設けました。でも完全には仕切られていないので、どこにいても家族と会話ができ、いつも気配を感じられます」と考え抜かれた空間設計にご主人も大満足です。

そんなシンプルでシックな空間の中で、ちょっと趣の異なる一室があります。茶系の壁にダークトーンの天井、琉球畳が敷かれた和室です。リビングから一段上がるスタイルの和室は、赤色の照明やレトロな雰囲気



笑顔が溢れる河合家の皆さん



光が射し込み“ホンワカ感”に包まれるリビング

こだわりが感じられます。

「和室をはじめ、リビングもダイニングも頭の中には理想のスタイルが浮かんでいたんですが、なかなか言葉では表現できなくて。そんな思いを形にしてくれたのが、打ち合わせのたびにこちらの思いをくみ取りながら、いろんなアドバイスをくれたホームアドバイザーの秋山さんです。おかげでデザインはもちろん、住み心地もとてもいい家になりました」と笑顔のご主人。中でも遊び心がありながら落ち着ける和室はご主人の思いが見事に形になったようで、遊びに来たお父さまもすっかり気に入った様子だったそうです。

「新居に越してきてから家族で過ごす時間が増えました。子どもたちも広くて明るい家が大好きです」とほほ笑むご夫妻。自慢のわが家は、家族みんなの笑顔と笑い声があふれる理想の住まいとなりました。



“色”が味わいを持たせる和室



担当の石川さんと

INFORMATION

『環境への想いをかたちに』

早野組では、環境事業部を筆頭に、様々な『エコ』の商品・サービスを提案しています。そのひとつに挙げられるのが、『太陽光発電』です。私たちは(株)京セラソーラーコーポレーション太陽光発電システム販売店として活動しています。太陽光発電システムの導入は、環境やエネルギー資源に対する社会的使命を具現化することができます。導入メリットとして「地球温暖化効果ガスの削減(二酸化炭素の削減)」「CSR(企業の社会的責任)の実践」「遮蔽効果」「環境教育効果」「ISO14001取得への効果」「既存未利用・遊休スペースの有効活用」挙げられます。

詳しくは、下記へお問い合わせください。



甲府商工会議所屋上太陽光発電システム

(株)早野組 本社:甲府市東光寺1-4-10 TEL055-235-1111
環境事業部:055-232-8686 <http://www.hayano.co.jp>

安全・確実・迅速な
トータル物流サービス!

我が社では、名鉄運輸の甲府営業所として路線運行を行っており、お客様の大切な荷物を全国各地へお届けしています。

- ・様々なお客様からの商品を混載して輸配送をいたしますので、割安な料金でお届けが可能です。
- ・安心のネットワーク。小さな荷物から小ロット貨物まで、安全・迅速・確実にお届けいたします。

詳細については一度ご確認ください。



甲府通運(株)
本社:中央市山之神流通団地3329-9 TEL055-273-0611

出店者募集

銀座街の駅1F安心ギャラリーに小さなお店

『スマイルBOX』

スマイルボックスは、小さなお店が集まった所です。商品はすべて手作りのものです。現在41ボックスの内、空いているボックスがいくつかあります。品物については、写真にもあるように小物から洋服まで多岐に渡って取り揃えております。見るだけでも結構面白く、購入していただければ幸いです。皆さんも一度お立ち寄りください。販売は、事務局が代行します。皆様は、毎月のレンタル料を支払うだけです。詳しくは下記へお問い合わせください。



出店希望の方は、安心ギャラリーまでお電話にてご確認ください。1カ月単位でレンタル出来ます。

お問合せ先 甲府市中央4-3-14
銀座街の駅 安心ギャラリー
荻野、藤川、仲 tel.231-6632

(株)やさしい手甲府 本部:甲府市上石田1-7-14
TEL.055-236-6210 <http://www.yasashiite-kofu.co.jp>

ユニバーサルデザインに配慮した公園!



『御勅使福祉公園』が完成。遊具・ベンチ・テーブル・トイレなどは車椅子でも快適に使えるように工夫されています。説明・解説のサインは音声で治水の歴史や周辺の動植物の紹介をしてくれます。信玄堤五番堤も観察できゆっくりと散策できる環境です。

(株)ロード 本社:甲府市下小河原町262番地
TEL055-241-6161(代) FAX055-241-6118 e-mail uproad@pluto.plala.or.jp

INFORMATION

お仕事や職場環境にお悩みの看護師・介護士の皆さんへ

～電話相談窓口開設～

専門のコーディネーターが皆様のお悩み・ご相談に応じます。

- ◎ 職場環境等で悩んでいて、より良い環境へ転職したいが、どうしたら良いか
- ◎ 就職活動する時間が無いので相談にのってもらいたい
- ◎ 山梨へ引越してきたばかりで情報が少なく、困っている
- ◎ 子育ての合間を使って働きたいがどうしたら良いか
- ◎ 土・日・祝日専門で副収入を増やしたい……など お気軽にご相談ください!

フリーダイヤル

(携帯からもOK)

0120-063-224



～医療・福祉の総合人材コンサルティング～

株式会社 ハートフルスタッフ

一般労働者派遣事業許可 般19-010014
有料職業紹介事業許可 19-ユ-010029

支店:甲府・八王子・横浜青葉
新宿HRC(人材研究センター)

(株)ハートフルスタッフ甲府支店 山梨県甲府市上石田1-8-20 TEL.055-236-0123 <http://www.hf-staff.jp/>



エコカー補助金は平成22年9月までに新車を
購入・登録した場合、補助金が交付されます。

ただし、補助金の予算がなくなると終了してしまうので要注意!

エコカー補助金

「平成17年基準排出ガ
ス75%低減」+「平成
22年度燃費基準+15%
以上」の新車を購入する
場合

新車

補助金10万円

(軽自動車は5万円)

廃車を伴うエコカー補助金

新車登録から13年以上
経つクルマを廃車(スク
ラップ)し、新車(平成22
年度燃費基準達成車)へ
買い替える場合

新車

補助金25万円

(軽自動車は12.5万円)

13年以上

→

廃車

登録時期が平成22年10月以降になる場合は対象外となります。また、補助金の予算がなくなり次第終了となります。

ネットトヨタ甲斐(株) 本社:甲府市朝氣3丁目10-21 TEL055-232-5530



このCGはイメージにつき、実際とは異なる場合がございます。

昭和住宅展示場

グランドオープン
4月29日

最新の仕様装備をぜひ一度ご覧ください

トヨタホーム山梨(株) 本社:中巨摩郡昭和町河西1043 TEL055-275-1234 FAX055-275-7806 <http://yna-toyotahome.com/>

株式会社ECOテック

イタリアの最先端技術を、山梨から発信

扱っているのはペレットストーブやペレットボイラー等、時代に相応しい商品である。ここでいう「ペレット」とは、間伐材や製材加工時に発生する端材やおがくず、樹皮等を高圧で押し固めた木質燃料のこと。優れた経済性があり、CO₂削減に大きな効果をもたらす循環型資源のため、EUでは化石燃料に替り既に普及が進んでいる。



「蓄熱効果が高く燃焼灰も少ない
MECATECH社製」

当社ではデザインと機能で高さを誇るイタリア製を販売。現在MCZとMECATECHの2社から直輸入していて、写真のタイプで約38万円。ボタンで簡単に操作でき、コンピュータ制御だから安全。30畳を充分暖められる。身近では双葉SA(下り線)のレストランで見かけることが可能、近くオープンする浜松環



「何万台という量産で低価格が叶う」

境省モデルハウスでは外側がセラミック、ボイラー機能付の別タイプも展示する。「県土の75%が森林で、果樹王国である山梨は、木質バイオマスに着目すれば国内では有数の資源県。現状はペレット会社も県内に1社ですが、捉え方と行動一つで日本をリードするエコ先進県にも成り得る」と石川取締役は話す。

プリウスのタクシーが自慢の丸三タクシー内で兼業するのは、少しでも低価格でご奉仕したいという願いから。顧客も東北から九州まで幅広い。時機を逃すことなく地の利を活かし、首都の隣接県として山梨が輝いている未来であってほしい。



ECOテックの皆さん



ペレット



石川取締役

所在地 山梨県甲府市貢川2-1-13
TEL 055-268-3631(10:00~16:00)
FAX 055-235-9277
URL http://ecoyamanashi.jp
E-mail info@ecoyamanashi.jp
※代理店として甲府市の喫茶店[どんぐり北口店]もある。
問合せ：090-8594-8495



ほうとう不動 東恋路店

近未来的な外観が惹きつける、老舗の新店舗

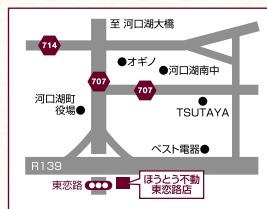
「ほうとう不動」で知られる不動食品(株)が新たにオープンさせた話題のお店。町道河口湖インター線と国道139号が交差する東恋路交差点近くに建つのは、道行く人々をハッとさせ、一度目に留まったら忘れられないほどの強烈な印象を与える建物だ。“富士山にかかる雲”をイメージして造られたそのドームは、まるで芸術作品のよう。斬新かつユニークで、“中はどうなっているの?”と想像を掻き立たせる。オーナーの古屋昇氏は「この場所ならではの今までとは違う、全く新感覚の店舗をと、知り合いの建築家に案を依頼した」と語る。柱のない特殊な構築物のため、構造設計はかのオペラハウスを手がけた豪州アラップ社の日本法人が担当し、お目見えと同時に世界的な建築専門誌にたびたび紹介されてきた。

広々とした店内は見事なしつらいだ。緩やかに配された椅子とテーブルは木の質感や木目を巧みに活かしたオリジナルデザイン。所々に設けられた窓から真っ白な空間に外光が差し込み、まるで大きな庵にいるように不思議と心が落ち着く。厨房から漂う匂いやてきばき働くスタッフ、

すべてが美味しいひとときを演出してくれる。若い頃、船乗りをなさっていた古屋氏だからこそ実現できた、夢と冒険に満ちた店舗へ出かけて、遊び心の妙とほうとうを堪能してみてはいかが。



オーナーの古屋昇さん



所在地 山梨県富士河口湖町船津字東恋路2458
TEL 0555-72-8511
営業時間 11:00~20:00
定休日 年中無休
URL http://www.houtou-fudou.jp/

小規模でソフト面重視の福祉施設
社会福祉法人 ひかりの里

炭酸泉による足湯の風景

進む超高齢化社会で、私たちは老親介護や自分の老後について考える機会も増えてきているのではないだろうか。ひとくちに老人ホームといっても、民間が運営するものから、国や自治体の補助金を得て法人が営むものまで、種類は様々。むろん規模や内容、価格もいろいろだ。今回はそのヒントとして、小規模・地域密着型・老幼一体化の3つをキーワードに山梨で事業展開している社会福祉法人「ひかりの里」をご紹介します。

税理士取得前から抱き続けた
特養にかける想い

昨年1月、甲府市湯村に新しい光が降り注いだ。特別養護老人ホーム「志麻の郷・湯村」の誕生である。廃業したホテル湯伝を譲り受けて、改装。テラスには医学的な効果が認められ、ドイツで心臓の湯とも呼ばれる“炭酸泉”の足湯を設

けた。温泉郷として長く親しまれてきたこの街だからこそ、ゆったりと心安らぐ時間が過ごせる。じつはこの特養開設は「ひかりの里」にとって悲願であり、15年という節目に見事叶ったのだった。

事の始まりは理事長・山田一功氏の大学時代まで遡る。「自分が将来、人生を全うするその最期、死に様をどうしたいか、ということを考えて、社会福祉の道を歩みたいと心に決めていた」と話す。

熱意とタイミングと
すべては、ここから始まった

特養の計画書を初めて県へ提出したのは昭和62年、税理士資格を取得する前年だった。以後、担当課に足繁く通い熱意をアピール、計画書も軽費老人ホームに変更して再々提出を行っていた。その成果が実り平成5年10月、県庁から補助金内示の示唆を受け、他施設の見学や建設敷地の相続登記申請を進めることに。さらに年明け7日には県長寿社会課より当年度内の緊急経済対策としての打診があり、即受諾。これらはじつは「ひかりの里」が法人認可される前の出来事だ。「地元の双葉町が全面的にバックアップしてくださったおかげ。開発設計に当たっては土地利用審査会や消防の関係も必要な申請書類すべてにすぐOKを出してくれたんです」と理事長。それからは、ケアハウスやデイサービスセンター、グループホーム等矢継ぎ早

に開設してきた。そんな中、福祉の限界を感じ、平成11年には医療法人を設立。「お世話する方たちを自分の所で診られるように」とクリニックまで建てた。

施設を活かせる老幼一体化も
使命と確信して

特に想い入れが強いのは児童養護施設。親の虐待等で保護者と生活できない乳幼児から18歳までの子供を預かり、養育支援する施設だ。教職にも憧れ、県のPTA協議会会長を務めた氏は、子供たちへの愛情が人一倍深い。年間行事にも自ら参加し子供たちを温かく見守る。当時48年ぶりと言われた新設だったが、高齢者と交流しながら双方のケアが図れる利点を活かし、今年さらに増設する。

「越えられない壁はない」という持論のもと、何かに突き動かされるように奮闘し続けたこの歳月。「50にしてやっと不惑の境地になりつつありますよ」と笑う山田理事長に、類稀な底力、頼もしい器量を感じずにいられなかった。



山田理事長

●社会福祉法人 ひかりの里●

平成6年3月に法人の設立認可を受ける。「ケアハウス・ハートピア茅南台」を始め、デイサービスや在宅介護支援センター、老人グループホーム、クリニックや児童養護施設等、精力的に事業を展開し山梨の社会福祉に貢献してきた。昨年1月には特別養護老人ホームが竣工、今年の3月には老人保健施設も開設される。当法人は福祉サービス第三者評価より優良な評価を得ているが、中でも山梨市のグループホーム「めだかの学校」は県内トップレベルの質を誇る。現在、職員は全法人併せて200名。

【法人本部】〒400-0108 山梨県甲斐市宇津谷1103

TEL 0551-20-3600 FAX 0551-20-3535 URL http://hikarinosato.com/



提供：山梨日日新聞社

み ゆ き み ち
御幸道

い こ え
神が通る古の街道

御幸道とは、「神」がある所からある所に遷座する道筋である。したがって神社があれば、そこには御幸道があるわけで、県内の各地に御幸道は残されている。ここでは、甲斐国の一の宮（笛吹市一宮町・浅間神社）、二の宮（笛吹市御坂町・美和神社）、三の宮（甲府市国玉町・玉諸神社）の三社の神々が集まり、甲斐市竜王町の三社神社まで「公祭」として渡御した「御幸祭」のルートをいう。

毎年二つ目の亥の日に、一の宮と二の宮は神輿を出して鎮目村の東から石和の河原を渡御し、本道（甲州街道）を避けて川道（御幸道）を通り、三の宮と合流し、西郡の竜王まで御幸したとされ、三社が合流する場所は、玉諸神社のやや西の「逢橋」であったと記述が残されている。

甲府盆地の初夏を彩る「三社御幸」が、三社そろって渡御したのは明治2年までで、同3年からは一の宮浅間神社だけが単独で渡御するようになった。これは三社の神輿がエスカレートするあまり、喧嘩が絶えず、禁止されたといわれている。さらに近年に至ると交通事情により、人々が神輿を担いで渡御することが不可能となり、現在では一の宮の町内のみ神輿を担ぎ、竜王まではトラックに乗せて渡御している。

〔文・写真 若林 賢明〕



木橋（逢橋）甲府・蓬沢で



おみゆき祭り（一宮浅間神社）神社出発



三社神社（甲斐市旧竜王町）

— 某月某日 —

まずは病院探し

×月×日

前回に続いて去年の夏に腎臓細胞癌が見つかり、9月15日に手術した経緯を報告する。まず訪れたのは有明にある国立癌センター。妻の仕事の関係で東京の病院が便利なので山梨の病院は探さなかったが、以前からこうなった時の病院は自分で探そうと思っていた。一応一通りの知識、例えば医師の専門領域・出勤日等は、インターネットで頭に入れて、撮ったCTの画像を持って有明まで。判ってはいしたが、ものすごく近代的な施設にびっくりする。経緯を説明すると、直ぐに手術予定の確認となる。

「40日後の10月7日位で最速ですが…？」とのこと。

「困った…」というのが、実感であった。少なくとも9月中に

終了しておかないと仕事に大きな穴を開けてしまうことになる。同僚に迷惑がかかる。多分みんなで何とかしてしまうだろうが、その負い目が嫌だ。しかし手術の予定日に関しては、医師も患者も必死なのは知っている。「予定を入れておいてください…今日・明日に妻と相談して電話します」としか言えなかった。

帰り道に「やはり自分だけ特別早く手術してもらおうというのは虫が良すぎる」とも考えたが、これからの予定のことを考えると絶望的になる。しょうがないので最終手段を使うことにした。

〔杉村 聡〕

春の新生活



お部屋が決まったら 次は引越屋さん

甲府通運では引越運送も行っています。新生活のスタートにぜひご利用ください。

安心、丁寧、迅速でお客さまの小さな荷物も大きなハートで運搬いたします。ふとん袋1個から家財道具一式まで、模様替えにより家具移動から海外へのお引越までと、お客様のあらゆるご要望にお応えします。全国ネットを生かした、きめ細やかなサービスをご提供いたします。またオフィスの移転の際にもご利用ください。全てのサービスとも無料で御見積いたします。

流通の基本を大切にその先へGO

（運）甲府通運株式会社

本 社 〒409- 山梨県中央市山之神流通団地3329-9
3845 TEL.055-273-0611 FAX.055-273-9332
田 富 〒409- 山梨県中央市山之神流通団地3211-14
営業所 3845 TEL.055-273-5471 FAX.055-273-6277

グリーン経営 認証取得

安全性優良事業所

大切なモノを安全に
素早くお届けします。

事 業 内 容	
● 一般貸切輸送（一般、常用、専属）	● 重量品輸送（取り付け、取り外し搬出入作業）
● 入出荷請負（荷造り、梱包作業、出向代行業務）	● 引越輸送（事務所・工場の移転、ご家族のお引越等）
● JIRコンテナ輸送取り扱い	● 一般貨物全国定期便
● 宅配便	● 航空便取り扱い
● 産業廃棄物収集運搬	● 生命保険の募集及び損害保険代理業